

2003

Vol.3

8月1日発行
(毎月1回1日発行)田中けんを応援する会
後援会会報

月刊田中けん



江戸川区議会議員

田中けん

Monthly of News Tanaka Ken

Ward
Assembly

田中けんが、一般質問をしました。

6月24日から7月4日にわたって、「江戸川区議会第二回定例会」が開催されました。

「一人の会」の田中けんが「タバコに関する質問」をしました。

以下、その要約文を掲載します。(注:*以下は区長答弁の要約です)



平成15年度行動指針の「環境をよくする運動」についてですが、歴史を振り返ってみますと、活動方針に「ポイ捨て」の文言が入るようになったのは、平成10年度です。当時は、「タバコ」が「ポイ捨て」という文言の中に、意味としては含まれていたものの、今回のように「タバコ」の文言が直接記載されるようになったのは、「環境をよくする運動」史上、今年が初めてです。

庁舎内の各廊下にあったタバコの煙を吸い取る機械が、最近になって撤去され、かわりに副流煙が外部に漏れにくい喫煙室が設置されました。

また、区役所を見渡せば、課題は残るものの本区はタバコ対策で着実に前進しており、各党派からも「タバコ規制を強化すべし」との訴えが何度となく議会でなされております。

それに対して、区長や執行部の方々の答弁には、積極的に取り組む姿勢がまるで伺えませんでした。

タバコ問題に限らず、本区が現在着手している、評価されるだろう素晴らしい取り組みを、もっと積極的にアピールし、行政として、しっかりとした説明責任を果たしていただきたいとの現状を踏まえて、区長に対して以下7点の質問をいたしました。

1.「タバコ」とは区長にとってどのようなものであるか、考えをお聞かせください。

*通説のとおり、生活習慣病の危険因子の一つであると考えます。

2.「タバコ問題」における、取り組みのスピードと、過去に対する反省についてご説明ください。

*反省点はないかとの事ですが、今まで不言実行でやって参りましたが、これからは有言実行でいかなければと反省しております。

3.最近の目覚しい「タバコ問題」に対する取り組みを見てみると、行政内部で方針転換があったように思われますが、いつ、どのような理由によって行われたのでしょうか。また、方針転換をしていないならば、少なくとも8年前から指摘されているこの問題を、なぜ最近になって目に見えるかたちで取り上げるようになったのでしょうか。

*方針転換されたかということですが、世論も高まってまいりまして、健康増進法の制定もありました。副流煙から多くの人を守る事が法廷で明示されたので、設置管理者としては全区民的にも推進していかなければと思っております。

4.タバコ問題が、長期的な計画にもかかわらず、区長方針としてのその文言らしきものがなく、また、事前予告も事後説明もない状態で、黙って仕事をしてしまう区長の行政手法を不思議に感じます。その理由をご説明ください。

*長計の文言に関しては、様々な施策の中での位置づけですので、またいずれ検討してみたいと思います。

5.有権者との契約や有権者に対する事前説明もこれからの行政には必要だと考えております。「戦略」をもって、行政を語られた区長ですので、その「戦略」が長期計画の中に反映されてこそ、このタバコ問題

に対する姿勢についても、区民にわかりやすいと考えるのですが、いかがでしょうか。

*生活習慣病防止という観点から、健康施策の中でどのような目標を掲げるかということも今後の問題として考えてまいりたいと思います。

6.今後江戸川区の長期計画にも、千代田区に見られるような条例の対応が含まれてくると考えます。杉並区や広島市は既にその方向ですが、今後の本区はどうなるのでしょうか。

*条例制定の直後に千代田区長と2人でお話して真意を聞いたのですが、千代田区は4万の区民が千代田区税を支えています。昼間は100万人に近い人口が押し寄せてきます。区民がまちをきれいにしようと努力しても、100万人の皆さんにはかなわないという事で、条例を作って注意を喚起するというお話をされました。江戸川区の状況はやや違います。職住近接のまちで、何十年にわたる、環境をよくする運動も進めてきましたし、ポイ捨て防止運動は、歴史の中で繰り返し行われてきたわけです。モラルを高める区民運動は歴史を持っており、そういう中で解決すべき問題だと考えています。

7.タバコ問題は、総務・環境防災・生活振興・福祉・健康・教育・監査など、全庁的な問題でありますので、縦割り行政を排し、企画などがリーダーシップを持って総合的に取り組むべきです。区長の見解はいかがでしょう。

*「タバコ」に体する行政の取組みも組織を超えて総合化すべきではないかとの事ですが、一つの問題にいろいろな分野が関係するわけですから、そのような取組みをしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

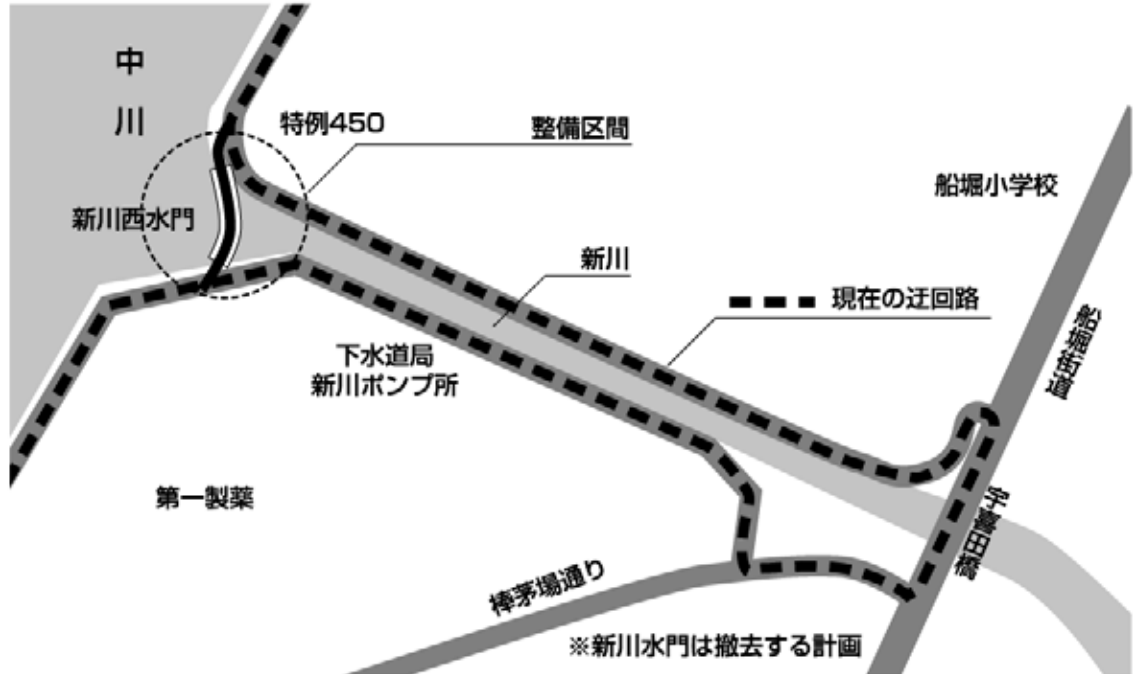


Realization

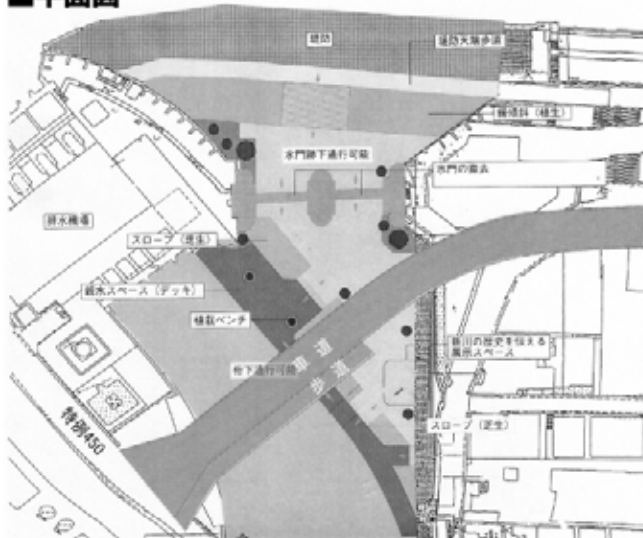
新川西橋梁（特例都道450号線）の整備が実現します。



中川左岸の堤防下に位置している都道（特例都道450号線）は、従来新川付近で船堀街道に迂回しておるのが現状です。この現状を解決するため、新川に新しく橋梁を整備することが実現することとなりました。



■平面図



■整備概要

- 橋 長 L=34.00m
- 幅 員 W=14.70m
(車道7.25m [往復2車]
歩道3.5m [片側])
- 形 式 下路式ラチストラス桁橋
新川の河川景観に配慮し、
対面側を見渡すことができるように
主桁が格子状となった構造。

■整備スケジュール

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
設 計	基本設計	○形式決定(5月) ●詳細設計			
橋梁工事		●準備工事	●下部工事	●桁製作架設工事	●上部仕上工事
取付道路工事			●		●



Event Information

田中けんは、皆様との心の交流を大切にします。

2003年6月27日(金) 19:00より新小岩にて、「田中けんの居酒屋座談会」を開催しました。

当日は35名の皆様にお集まりいただきました。

田中けんは、各テーブルをまわり、ご参加いただきましたお一人、お一人から直接お声を頂戴しました。有意義なひとときを皆様と共有させていただきました。

8月のご案内

田中けん 政治報告会& ランチ

ぜひ皆様でご参加ください。

- 日時 **8/2** (土) 午前11時～
- 場所 「河豊」葛飾区東新小岩1-2-13 (TEL:03-3696-2716)
- 会費 3,000円
- 主催 「田中けんを応援する会事務局」
03-3651-7994 (担当:松原)
nishiyama@r6.dion.ne.jp (担当:西山)
03-5662-7755 (担当:田中)



※ご予約なしでの当日参加は承っておりません。
ご参加希望の方は、できれば、7/29(火)までにご連絡ください。



Home Page

HPをリニューアルいたしました。

独自ドメインを取得し、デザインを一新いたしました。

下記のアドレスにアクセスし、新しく生まれ変わった

「田中けんWeb事務所」を一度ご覧ください。

「月刊田中けん」の発行履歴や、

毎月行っている定例会の様子なども随時更新していく予定です。

「田中けんWeb事務所」では、

皆さんと一緒に盛り上げるサイトを目指しています。

ご意見・ご感想をお寄せください。



<http://www.t-ken.jp>

【議員依存症】

田中けん・エッセイNo.1

保育園でも、幼稚園でも、学校でも、私が先生方とお話をする、親が持つ教育機関への過度な依存心の話がよく出てくる。教育とは、学校が行うことであるとの前提がある親は、最初から自らの教育権を放棄しているかのように、すべて保育園に、すべて幼稚園に、すべて学校にお任せなのだ。この現象に対して嘆いている教育関係者は多い。子どもたちを教育する責任は、その主体が親にあるのか、それとも学校にあるのだろうか。

政治では、よく「教育こそが重要だ」と言われることがある。その教育とは、ほぼ学校教育と同じ意味で言われている。家庭内教育や地域教育の必要性を論じている場合は、それほどない。どのような教育論を言ってみても、それが学校教育のことだけで終わってしまうのならば、その主張は、結局のところ両親の心の中にある「学校お任せ」の依存心に訴えているにしか過ぎない。

さて、問題は政治である。自分が議員になってみると、政治もまた、学校と同様にお任せしてしまう有権者が多いことに気がつく。政治の主体が有権者にあるのか、議員にあるのか。

弁護士の中坊公平氏は「日本人は劇場型民主主義から脱却すべきだ」と言っておられる。劇場型民主主義とは「政治は誰かが勝手にやっているのを外から眺めるものであり、自ら担うものではないと思いついて有権者による民主主義」という意味らしい。

教育も政治もどうやら主役不在の中で、本来はサポート役である教育者や政治家が中心となって、行われているらしいのだ。これでは教育も政治も良くなるはずがないと私は最近特に感じている。

私も「先生」と呼ばれることが多々ある。これが有権者の政治家に対する依存心から発せられた言葉であるとすれば、世の中を

変えることは相当やっかいなことだ。議員を先生扱いする必要は無いので、有権者はもっと政治の主役として、舞台の上に乗ってきて欲しいと私は願っている。



Ken Tanaka



高速道路無料化計画!

江戸川区議会議員

田中 けん

【プロフィール】

1966年1月6日 江戸川区生まれ

第三松江小学校 卒業

松江第三中学校 卒業

都立墨田川高校 卒業

千葉大学教育学部卒業

1995年4月 江戸川区議会議員初当選(2,789票)

1999年4月 江戸川区議会議員再選(4,282票)

2001年6月 都議会議員選挙惜敗(12,394票)

2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,103票)

現在ホームヘルパー、江戸川トライアスロン連合会長



【田中けんを応援する会事務局】

自宅事務所 〒132-0021 江戸川区中央4-25-14

TEL 03(3651)7994 (7月31日まで)

自宅 TEL 03(5662)7755 e-mail gen@big.jp